

現代日本のコミュニティ
: 多様性と12類型分析
: 2006-7 自治会全国調査からの分析

新コミュニティあり方研究会

2008.7.24

辻中豊(資料作成:山本英弘・崔宰栄)

報告の概要

趣旨: コミュニティのあり方といえは直ぐに「自治会等」の役割が期待される。しかし、自治会等の実態は、意外と知られていない。ここではその**多様性**を全国調査に基づき明示し、その**活動実態**を類型に注目して「中間整理」しておきたい。

自己紹介: 比較政治学者、11カ国の市民社会組織(政治関係)実態調査。大阪、岩手、北九州、茨城で事例調査中。

報告方法 **前半**①市民社会調査概要(対象国、基本認識、団体対象、地域、名称)

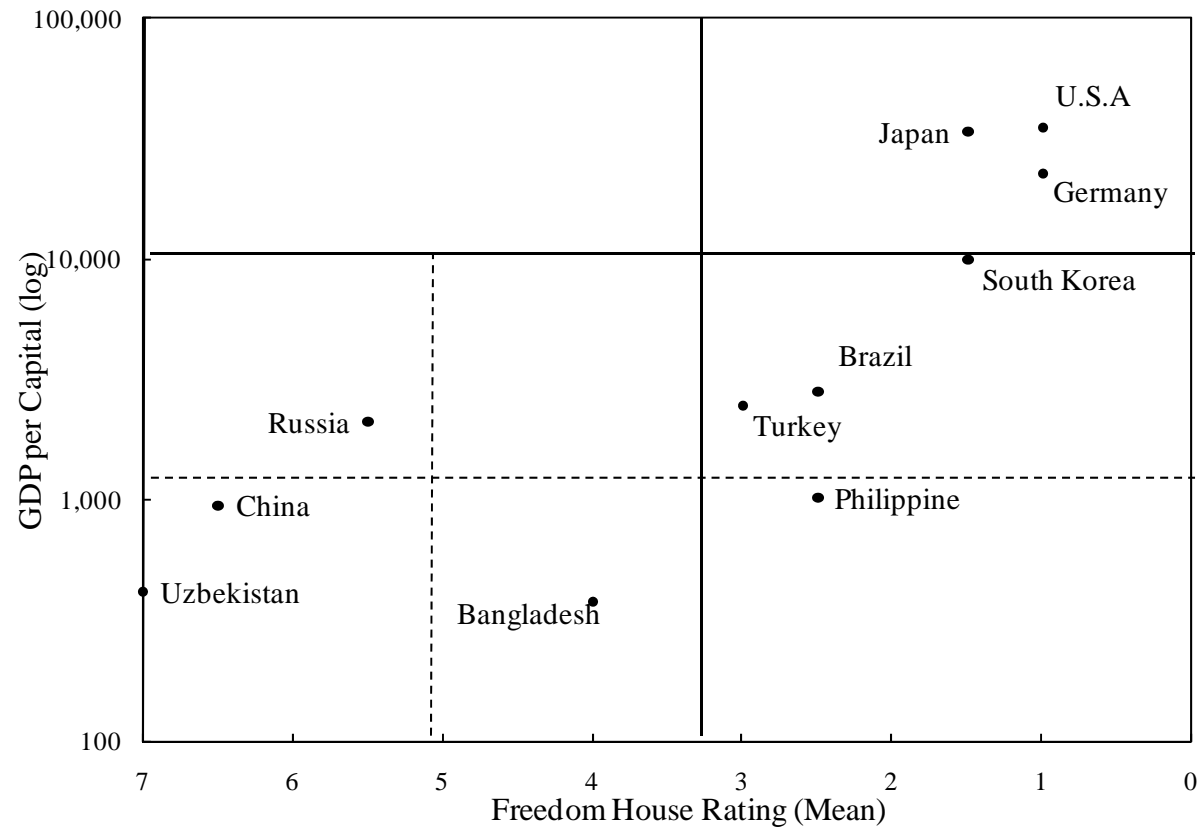
②自治会調査からみた自治会属性(設立年、**規模と地域**①から⑥、**加入率、活動**)

後半③自治会の12類型化

④自治会の諸活動×12類型

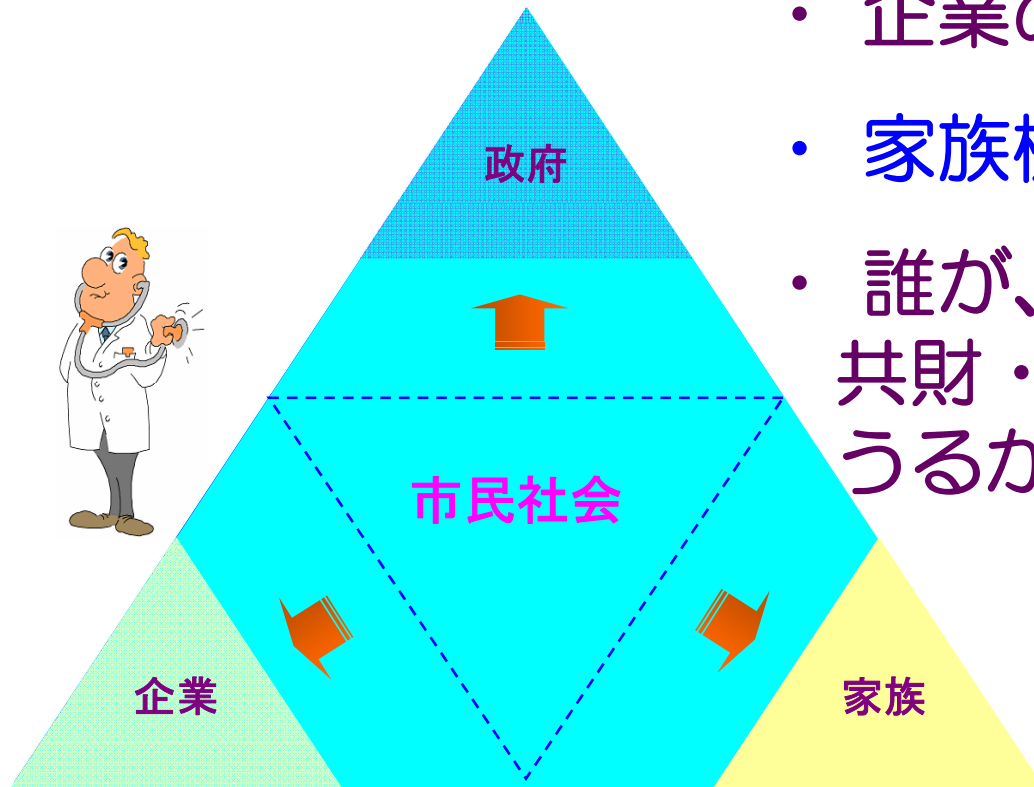
⑤調査からの示唆

11カ国市民社会組織調査1997-2008



世界と日本の現在の状況

- 政府機能の縮小、削減
- 企業の企業内福祉の切捨て
- 家族機能の縮小
- 誰が、どの集団がそれ（公共財・みんなの財）を補うるか



日本の市民社会全体像を求めて：JIGS 2 調査

3 レベル市民社会組織

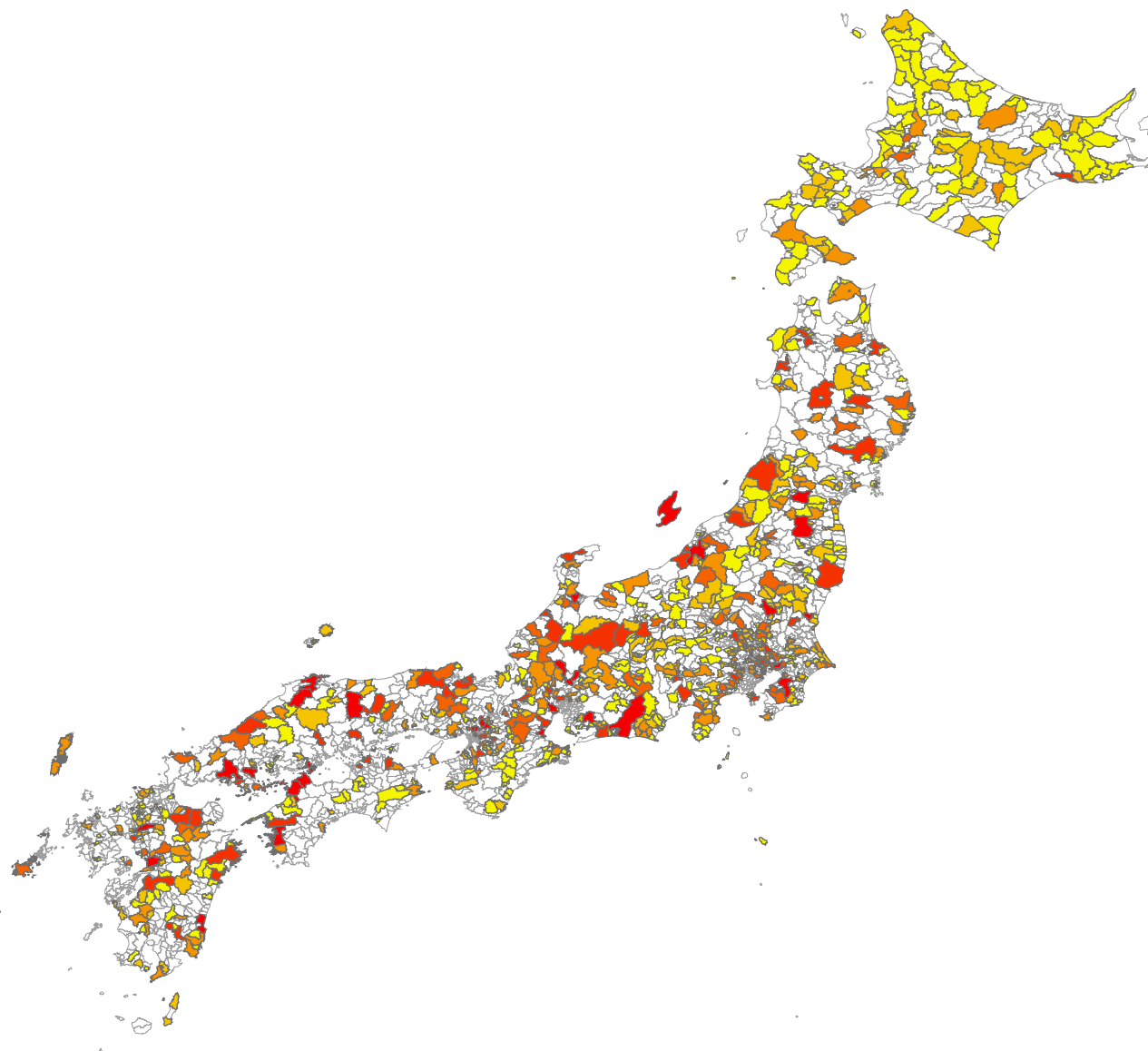
	団体数 (全国)	配布数	回収数
既存の社会团体(職業別電話帳所収の全団体)	91,101	91,101	15,791 (17.3%)
新興の運動体(登録NPO全数)	23,403	23,403	5,127 (21.9%)
伝統的な近隣住民団体(自治会・町内会等)	296,770	32,298	18,404 (56.2%)

※近隣住民団体数は2003年の総務省調査による

自治会(等)全国調査

- 調査主体: 科研費特別推進研究「日韓米独中における3レベルの市民社会構造とガバナンスに関する総合的比較実証研究(代表: 辻中豊、筑波大学大学院人文社会科学研究所)
- 2006年8月～2007年1月
- 方法: 自記式郵送調査
 - ※調査に協力の市町村(896、但し、一部連合会)を通して配布。
 - 郵送で回収。
- 計画サンプル数: 32,298
- 回収サンプル数: 18,404 (回収率: 56.2%)
- 日本で最初の全国自治会を対象とした調査
- 自治会長対象であるための歪みある可能性に注意

自治会全国調査対象 (896地区) 地図



凡例

自治会規模
自治会数

- 1 - 50
- 51 - 100
- 101 - 200
- 201 - 300
- 301 - 500
- 501 - 999

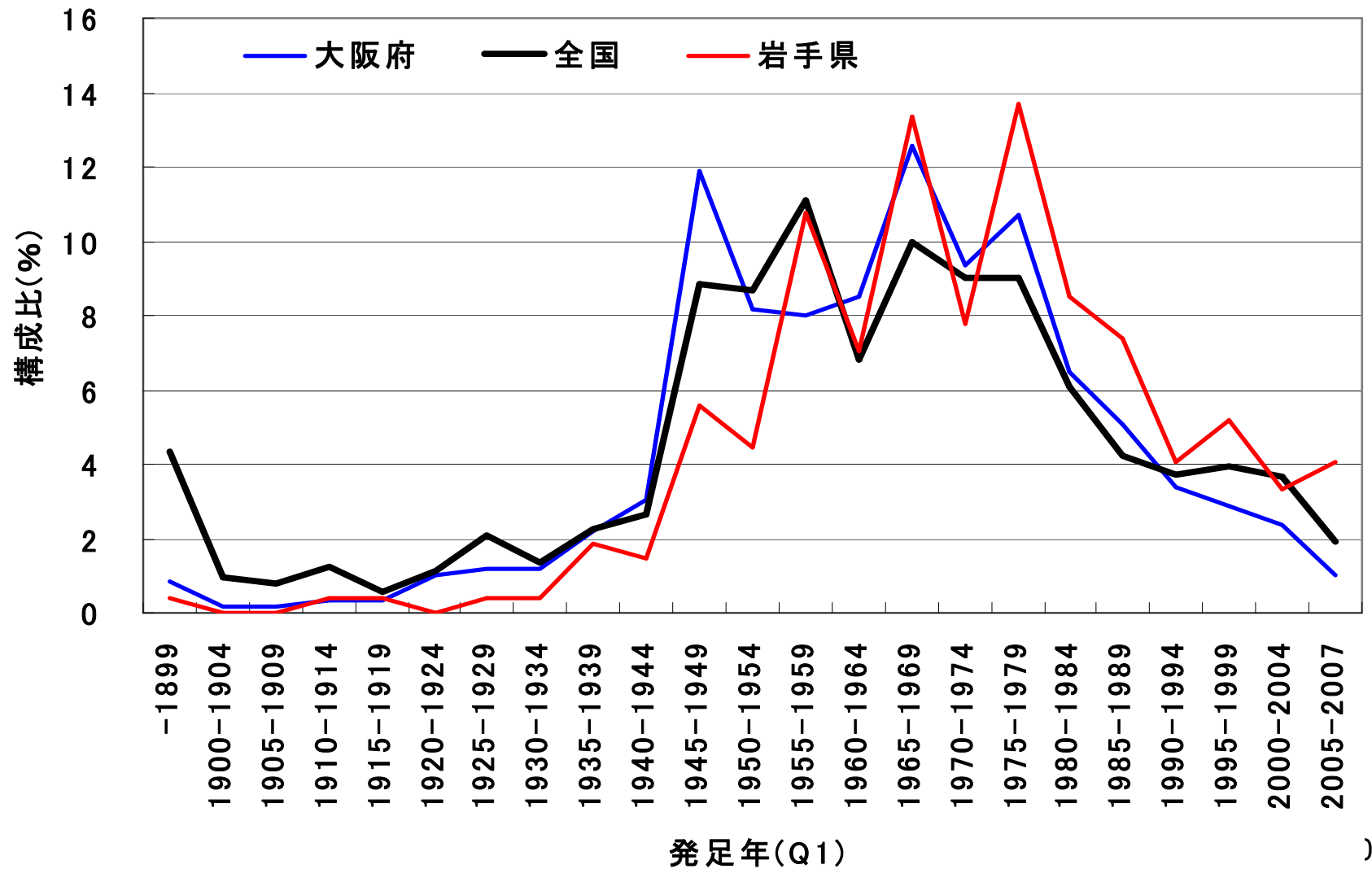
世界の自治会・町内会（住民組織）

- ・ **アメリカ**：あるところが稀：NHO任意結社（ゲイト＝門つき地区、自治体**外**地区もあり）
- ・ **ドイツ**：都市末端**代議**機構（区委員会、評議会）はあり
- ・ **中国**：居民委員会、村民委員会（**法的**組織）
- ・ **韓国**：班常会（**上から**）、住民自治協議会
- ・ **ウズベキスタン**：**マハッラ**（自治会に似る）
- ・ どこにも住民の団体はあるが、日本の自治会・町内会ほど発達したものはないようだ

日本の自治会等の多様な名称

- 自治会 11万4,222 (42.8%↑)
- 町内会 6万5,685 (24.6%↓)
- 町会 1万7,813 (6.8%)
- 部落会 1万5,851 (5.9%)
- 区会 5,773 (2.2%)
- 区 4万2,880 (16.1%→)
- その他 3万4,546 (12.9%)
- 合計 29万6,770 (100.0%)
- <2003年 総務省調査、比較は1980調査(274,738)>

自治会等の設立年(古い起源と戦後の整備)



3レベルの市民社会団体の設立年

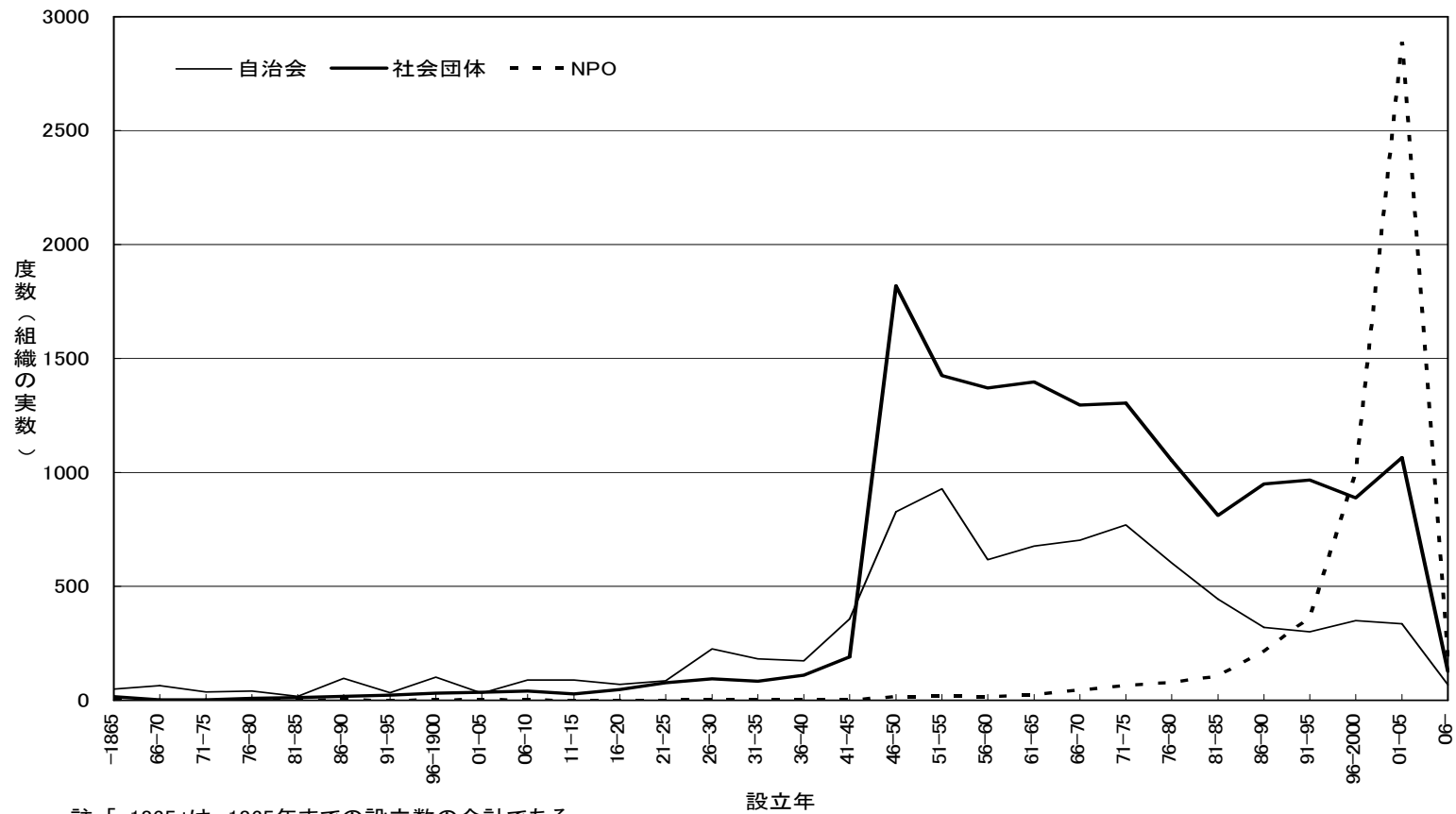
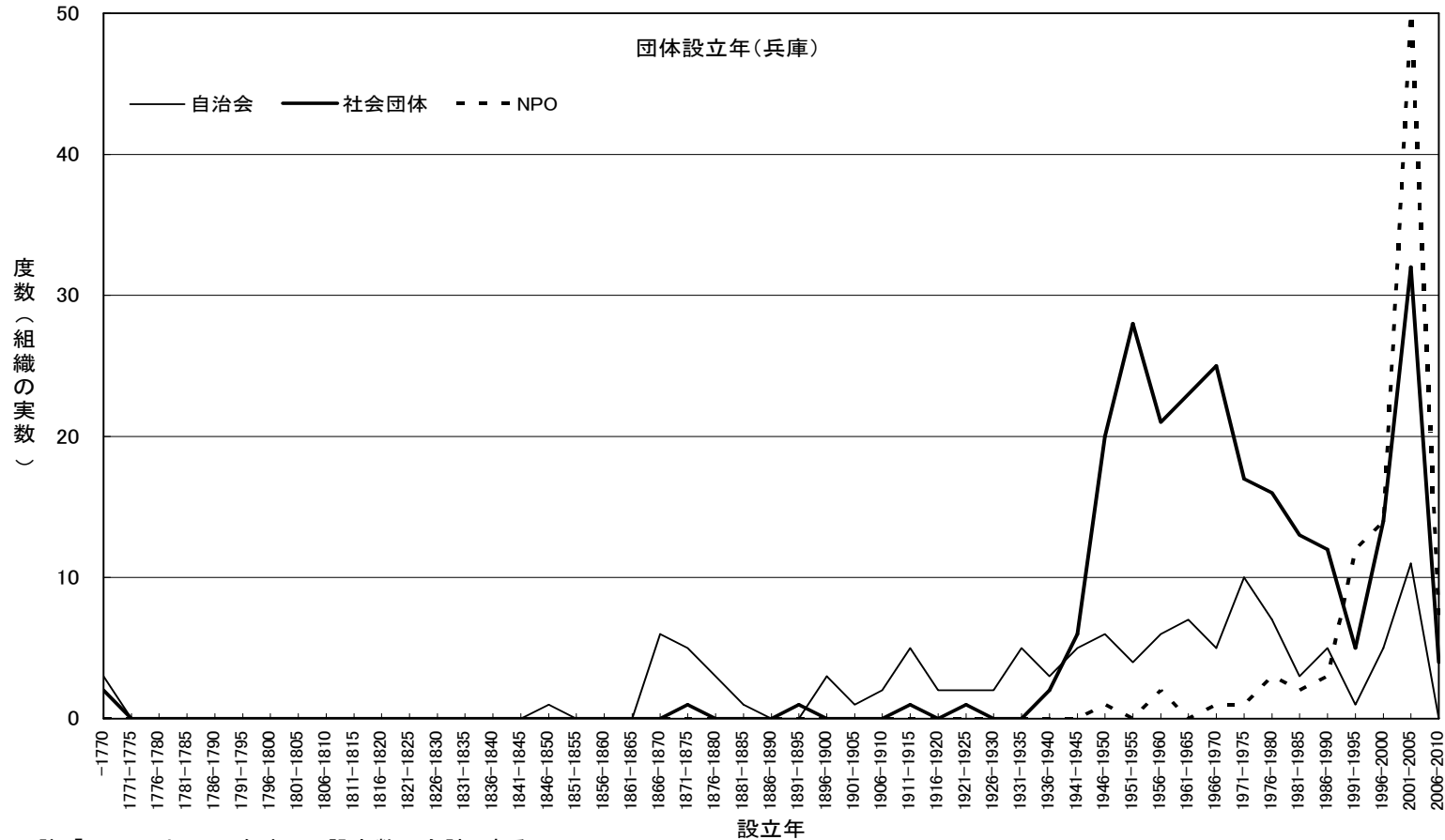


図3 JIGS2における設立年の比較（自治会、社会団体、NPO：5年毎）

団体・自治会全体ではアソシエーション革命がみられない。（NPOのみ）。

兵庫県における団体設立年



・註:「-1770」は、1770年までの設立数の合計である。 (a) 兵庫県

兵庫県では、アソシエーション革命がみられる。→震災後、市民社会の再構築

規模①自治会の多様な規模:

加入世帯数のヒストグラム(Q2)

(20世帯きざみ、601世帯以上は100世帯刻み)

平均値 228.9

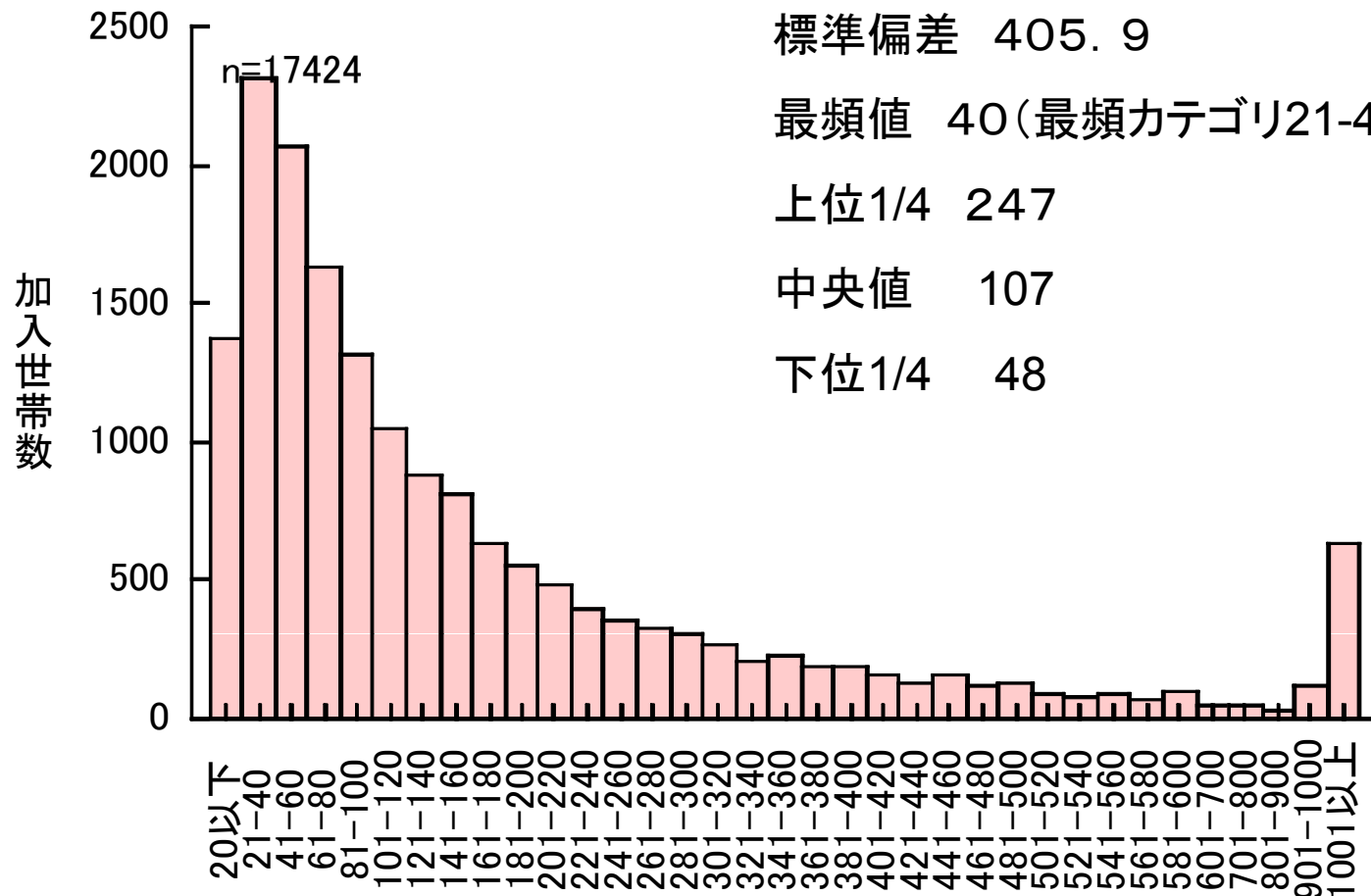
標準偏差 405.9

最頻値 40(最頻カテゴリ21-40)

上位1/4 247

中央値 107

下位1/4 48



都市規模ごとにみた加入世帯数の記述統計 規模②(Q2)

	平均値	標準偏差	中央値	調査サン プル数
5万人未満	137	241	73	5,773
5-10万人	186	268	100	3,348
10-20万人	242	411	123	3,134
20-50万人	231	359	116	3,245
50万人以上	515	710	275	2,120
合計	228	400	107	17,620

都市規模が大きいほど、加入世帯数が大きいという明瞭な傾向。

都市規模ごとにみた加入世帯数の割合(%) 規模③(Q2)

	20世帯 以下	21-50世 帯	51-100 世帯	101-200 世帯	201-500世 帯	501世帯 以上
5万人未満	10.8	25.0	26.1	20.4	13.5	4.1
5-10万人	8.1	20.0	22.8	23.0	18.2	7.9
10-20万人	5.6	17.3	20.1	23.6	22.5	10.8
20-50万人	7.2	17.4	21.3	20.5	23.1	10.4
50万人以上	1.2	5.4	10.9	21.6	31.0	29.9
計	7.6	18.9	21.7	21.6	19.9	10.3

色つきは最頻カテゴリ。都市規模が大きくなるほど、加入世帯数は大きくなる。 15

都市規模 × 加入世帯数に含まれる人口の割合 規模④(単位はすべて%)

	20世帯 以下	21-50世 帯	51-100 世帯	101-200 世帯	201-500世帯	501世帯 以上	総人口 に占め る割合
5万人未満	1.84	4.25	4.44	3.46	2.30	0.70	17
5-10万人	1.22	3.00	3.41	3.45	2.73	1.19	15
10-20万人	0.96	2.94	3.42	4.01	3.83	1.84	17
20-50万人	1.73	4.18	5.12	4.92	5.55	2.50	24
50万人以 上	0.33	1.46	2.93	5.79	8.32	8.03	27
計	6.08	15.82	19.32	21.62	22.74	14.27	100

「総人口に占める割合」とは、日本の全人口において、ある人口規模の都市に住んでいる人々の割合である(全市町村を含めて計算した)。これに各都市規模カテゴリごとの加入世帯数の割合(前スライド参照)を掛け合わせることで、都市規模 × 加入世帯数に含まれる人口の全国における割合を推測することができる。

自治会単位の割合でみるよりも、**人口を単位にみると201世帯以上の自治会に住んでいる人々の割合が大きい**ことがわかる。

地域ブロック別の自治会規模(%)規模⑤

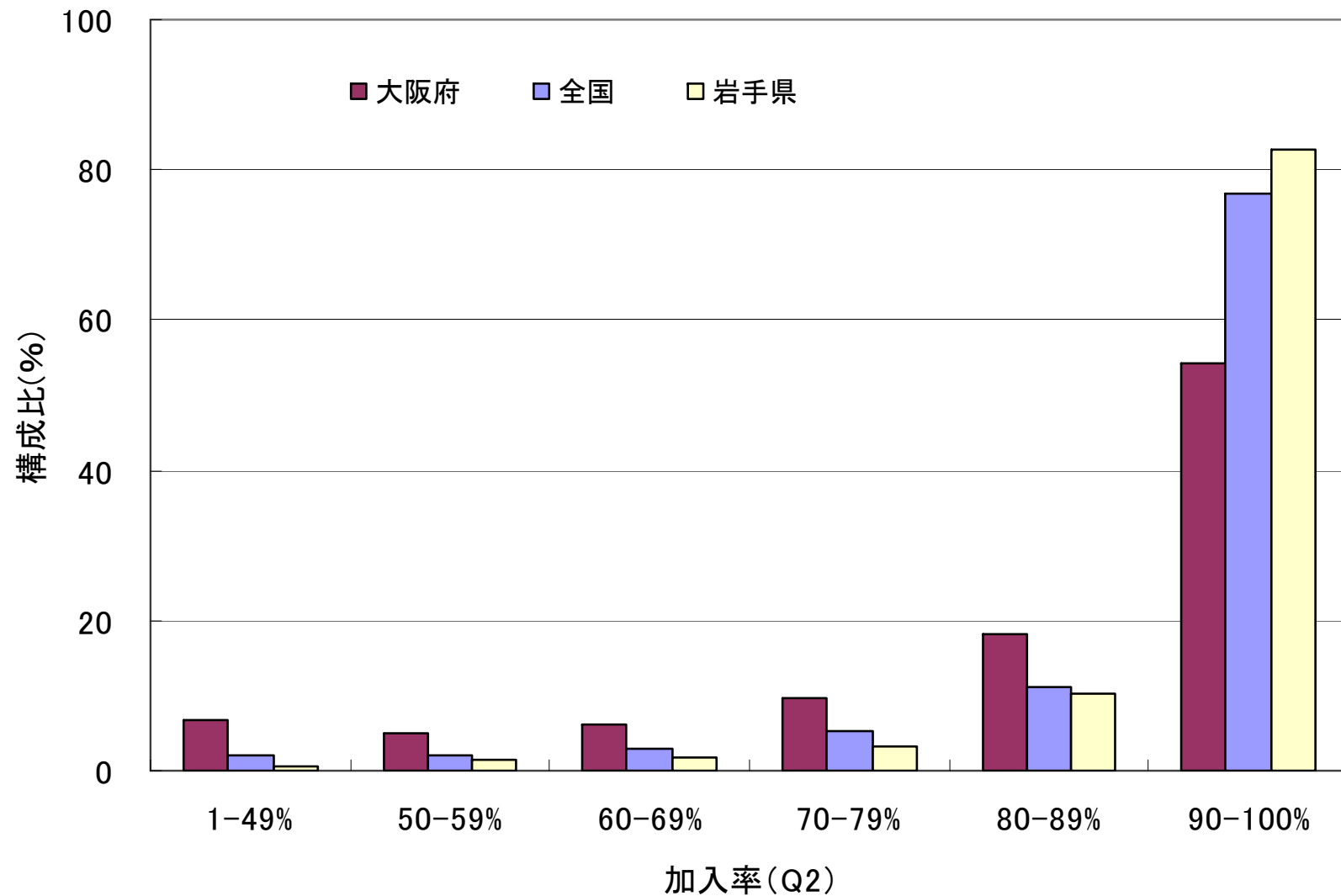
	20世帯以下	21-50世帯	51-100世帯	101-200世帯	201-500世帯	501-1000世帯以上	1001世帯以上
北海道・東北	6.7	22.2	25.6	23.2	16.9	4.3	1.1
関東	4.2	11.7	18.2	21.9	25.5	12.1	6.4
甲信越	10.4	23.5	25.0	21.7	15.0	3.5	1.0
東海	4.2	14.2	20.8	20.9	24.7	10.0	5.2
近畿	4.3	15.0	20.1	24.2	25.4	7.1	4.0
中国	18.5	28.7	20.3	18.9	11.3	1.9	0.4
四国	18.2	28.0	21.7	15.6	10.1	2.9	3.5
九州・沖縄	6.5	21.2	23.0	21.4	18.6	6.1	3.2
計	7.6	18.9	21.7	21.6	19.9	6.9	3.4

小規模自治会は、中国・四国地方に多い。大規模自治会は関東・東海に多い。 17

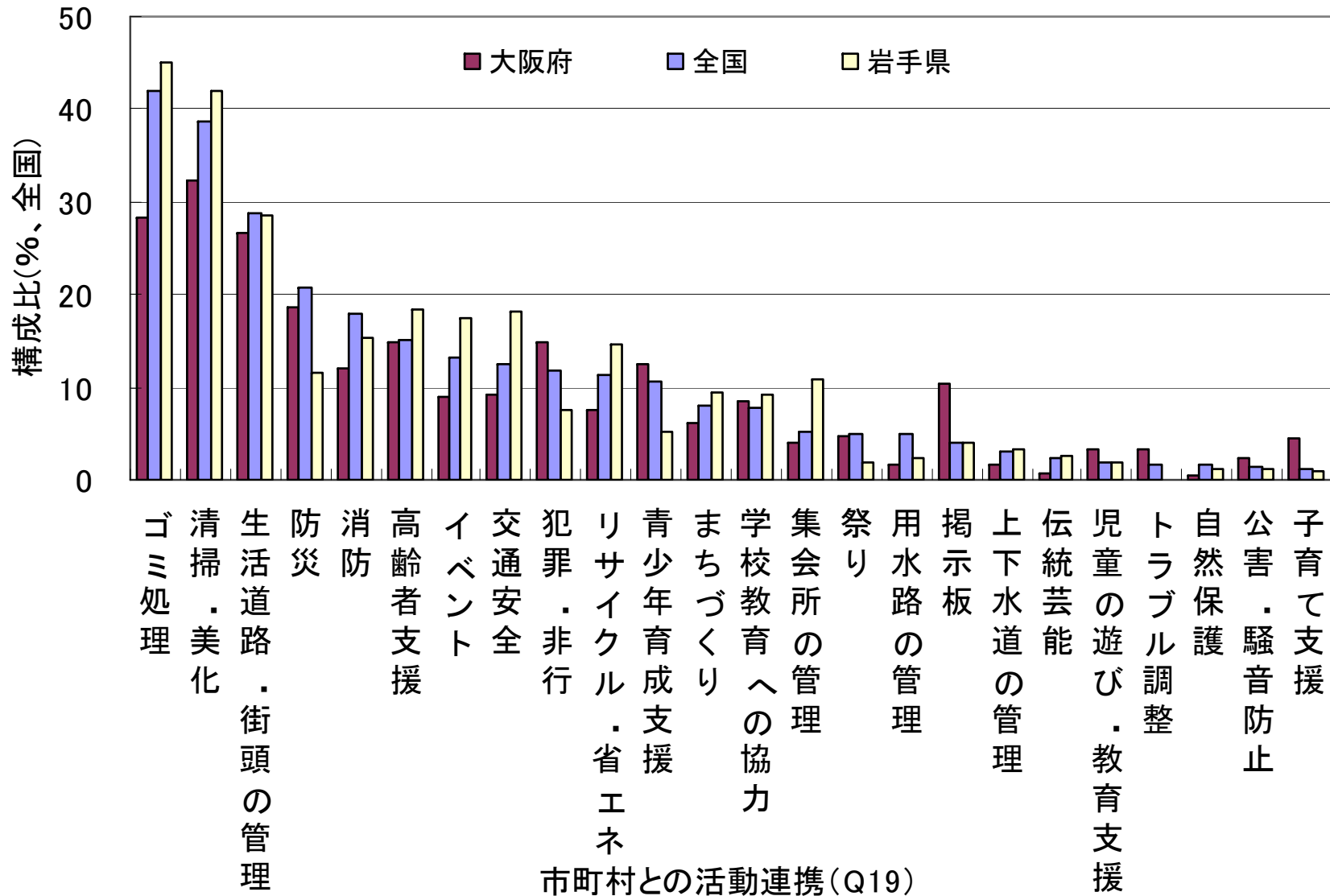
小規模／大規模自治会の割合 規模⑥(都道府県ベスト5)

20世帯以下		1001世帯以上	
1 香川県	33.2	1 東京都	17.7
2 岡山県	30.9	2 愛知県	11.4
3 高知県	23.2	3 福岡県	10.8
4 島根県	19.0	4 神奈川県	9.3
5 福井県	18.6	5 愛媛県	8.6

全国・大阪府・岩手県：加入率



市町村と連携した多様な自治会活動



前半小括：多様な規模の自治会

- 自治会等は多様な活動（平均13種以上）を行い、自治体の貴重なパートナーである。他方で、場所によって自治会等の規模は、極めて多様であり、一括りにそれを論じ、期待することはできない。

後半：自治会12類型と活動

青（黄色塗り）は他の類型と比べて高い
赤（緑色塗り）は他の類型と比べて低い
を表します。

自治会類型化の方法(暫定)

- 都市人口規模
10万人以上(48.2%) / 未満(51.8%)
- 自治会規模(Q2)
101世帯以上(51.8%) / 未満(48.2%)
- 住民同士のつきあい(Q15) 関係Social capital
生活面での協力(16.8%) / 立ち話(58.0%)
/ あいさつ(25.3%)

人口と世帯数の関係

	101世帯 以上	100世帯 以下	計
10万人以上	62.2	37.8	100.0
10万人未満	42.1	57.9	100.0
計	51.8	48.2	100.0

市町村人口と住民のつきあい

	あいさつ 程度 (低)	立ち話 (中)	生活面 (高)	計
10万人以上	21.8	60.6	17.7	100.0
10万人未満	12.0	55.6	32.4	100.0
計	16.7	58.0	25.3	100.0

世帯数と住民のつきあい

	あいさつ 程度 (低)	立ち話 (中)	生活面 (高)	計
101世帯以上	19.8	61.0	19.2	100.0
100世帯以下	13.3	55.0	31.7	100.0
計	16.7	58.1	25.2	100.0

自治会12類型の分布

	度数	割合(%)
都市・大規模・つきあい高	773	4.4
都市・大規模・つきあいい中	3,243	18.6
都市・大規模・つきあいい低	1,223	7.0
都市・小規模・つきあい高	708	4.1
都市・小規模・つきあいい中	1,866	10.7
都市・小規模・つきあいい低	607	3.5
非都市・大規模・つきあい高	970	5.6
非都市・大規模・つきあいい中	2,265	13.0
非都市・大規模・つきあいい低	568	3.3
非都市・小規模・つきあい高	1,958	11.2
非都市・小規模・つきあいい中	2,768	15.9
非都市・小規模・つきあいい低	503	2.9
合計	17,452	100.0 ²⁷

自治会類型と地域ブロック (%)

	北海道・東北	関東	中部	近畿	中国・四国	九州・沖縄	全体
都・大・高	3.1	5.8	5.0	4.5	3.2	3.6	4.4
都・大・中	9.8	27.8	19.0	25.8	11.5	12.5	18.6
都・大・低	5.1	11.3	5.5	9.7	4.6	4.6	7.0
都・小・高	3.5	2.3	6.6	1.3	6.7	2.8	4.1
都・小・中	5.3	9.3	15.7	7.5	16.7	6.5	10.7
都・小・低	1.7	4.2	3.6	3.7	5.9	1.5	3.5
非・大・高	7.7	3.7	6.2	4.8	3.8	7.5	5.6
非・大・中	14.6	13.5	12.2	12.7	7.7	17.4	13.0
非・大・低	5.1	3.9	2.2	3.1	1.7	4.0	3.3
非・小・高	19.5	5.3	10.0	9.9	12.4	14.4	11.2
非・小・中	20.2	10.8	12.2	15.0	21.7	21.3	15.9
非・小・低	4.5	2.2	1.8	2.1	4.0	4.0	2.8

自治会類型の分布について

- 「都市・大規模・つきあい中程度」の自治会が最も多い(2割)。
- 「小規模・つきあい低」自治会は少数である(都市部で3.5%、非都市部で2.9%)
- 地域ブロックごとに特徴がある:
- 関東、近畿で、「都市・大規模・つきあい中」が多い(25%以上) ⇒ 都市・中心的性格
- 北海道・東北、中国・四国、九州・沖縄では、「小規模・つきあい中」が多い(2割) ⇒ 地方・周辺的性格
- 中部地方は、規模にかかわらず「都市・つきあい中程度」の自治会が多い ⇒ 理由は今のところ、不明

自治会類型と住環境の維持 (%) Q17

	清掃美化	ゴミ収集	生活道路管理	集会所管理	掲示板管理
都・大・高	93.3	77.7	94.3	73.1	66.2
都・大・中	90.3	71.8	91.3	63.2	70.7
都・大・低	85.9	70.2	85.9	54.7	66.4
都・小・高	90.5	72.7	87.4	67.5	50.7
都・小・中	84.1	70.7	85.0	43.1	46.7
都・小・低	68.9	66.4	74.3	28.7	41.5
非・大・高	94.7	70.2	94.5	80.7	44.9
非・大・中	91.1	70.1	91.8	76.5	47.9
非・大・低	87.7	67.4	87.5	67.6	46.1
非・小・高	91.9	67.5	86.8	77.2	36.4
非・小・中	85.6	64.7	82.3	62.1	32.3
非・小・低	75.7	64.4	71.8	45.3	28.6
全体	88.0	69.4	87.3	63.6	49.5

自治会類型と親睦活動 (%) Q17

	祭り	スポーツ・ 文化イベント	慶弔
都・大・高	85.5	78.1	71.5
都・大・中	81.5	77.9	67.6
都・大・低	73.8	67.1	58.6
都・小・高	76.4	61.2	76.8
都・小・中	64.2	52.4	70.6
都・小・低	47.0	42.5	58.0
非・大・高	86.0	80.2	66.4
非・大・中	81.6	76.4	65.9
非・大・低	72.5	71.3	58.3
非・小・高	79.7	59.5	76.9
非・小・中	68.6	53.3	73.9
非・小・低	49.1	40.6	63.6
全体	74.7	65.2	68.8

自治会類型と安全活動 (%) Q17

	防災	消防	防犯	交通安全
都・大・高	71.3	71.4	73.6	71.4
都・大・中	64.4	65.2	68.9	61.5
都・大・低	58.0	56.3	66.0	56.7
都・小・高	63.4	66.7	53.7	56.1
都・小・中	47.8	49.3	41.5	42.4
都・小・低	39.0	35.4	34.9	32.0
非・大・高	69.0	74.9	64.9	66.5
非・大・中	56.2	63.9	59.2	59.1
非・大・低	50.2	52.1	58.8	54.4
非・小・高	57.2	68.4	43.2	51.9
非・小・中	44.3	54.5	35.6	45.8
非・小・低	35.6	39.8	30.2	36.2
全体	55.5	60.1	53.1	53.8

自治会類型と福祉・教育活動 (%) Q17

	高齢者福祉	青少年の育成	学校教育への協力
都・大・高	88.5	74.9	79.6
都・大・中	80.9	65.2	73.1
都・大・低	73.3	58.8	65.0
都・小・高	75.7	50.6	68.5
都・小・中	58.6	37.9	53.9
都・小・低	43.7	27.8	43.2
非・大・高	84.4	67.5	73.5
非・大・中	77.6	61.8	65.7
非・大・低	70.1	56.9	55.6
非・小・高	73.0	46.4	68.0
非・小・中	58.8	40.5	55.0
非・小・低	50.3	33.4	45.5
全体	70.9	52.9	63.8

自治会類型と重要な活動(3位まで) Q18

	清掃美化	ゴミ収集	祭り	防災	高齢者福祉
都・大・高	48.4	23.3	25.0	20.4	21.9
都・大・中	46.6	28.0	31.5	19.5	19.9
都・大・低	44.2	31.6	29.8	19.2	18.6
都・小・高	52.7	27.8	23.2	15.8	16.5
都・小・中	53.3	39.1	23.9	13.7	13.2
都・小・低	46.6	44.5	16.6	14.2	13.2
非・大・高	53.4	19.8	29.0	19.3	17.9
非・大・中	53.0	25.9	29.6	16.9	17.2
非・大・低	46.5	30.1	30.6	13.7	18.1
非・小・高	53.7	19.5	26.4	14.6	17.0
非・小・中	52.4	29.3	26.2	10.2	13.6
非・小・低	48.1	37.0	19.9	9.7	13.5
全体	50.4	28.6	27.3	15.7	16.8

自治会類型と市町村との活動連携率 Q19

	清掃美化	ゴミ収集	生活道路 管理	防災	防犯	高齢者福 祉
都・大・高	42.3	49.9	37.4	27.7	16.9	16.4
都・大・中	39.6	44.7	34.6	25.5	17.6	16.5
都・大・低	38.0	39.9	31.2	22.2	16.2	15.5
都・小・高	37.4	48.2	30.5	25.3	12.7	16.9
都・小・中	39.4	43.7	26.6	16.3	8.3	10.9
都・小・低	27.0	38.1	20.9	11.7	7.1	8.1
非・大・高	46.1	47.2	34.9	28.7	14.5	20.6
非・大・中	47.4	46.4	35.5	24.4	14.1	18.5
非・大・低	46.0	43.1	35.6	19.9	16.5	18.5
非・小・高	39.5	42.5	25.5	21.6	7.9	17.1
非・小・中	37.9	41.1	23.0	16.5	7.1	14.5
非・小・低	30.8	36.8	18.7	13.3	8.2	10.1
全体	40.1	43.7	29.8	21.5	12.2	15.7

自治会の社会活動について

- 全般に、「大規模・つきあい高(中)」の自治会の活動実施率が高い。(全般に、小規模・つきあい低の自治会の活動実施率が低い。)
- 「掲示板管理」、「防犯」は都市・大規模自治会で実施率が高い。
⇒都市的な特徴的活動
- 特に「祭り・イベント」、「防災・消防」、「福祉・教育全般」は、「大規模・つきあい高・中」の自治会で活動実施率が高い。
⇒規模の効果とソーシャル・キャピタルの相乗効果
- 「なにを重要な活動とするか」については、あまり差がみられない。(都市・小規模・つきあい低の自治会で「ごみ収集」重視が高い)
- 小規模・つきあい低の自治会で低いことを除けば、「市町村との活動連携率」にはあまり差はない。

自治会類型と活動参加率高（「4割以上」割合） Q22

	総会	清掃美化	見回り	防災訓練	交通安全	お祭り	イベント
都・大・高	69.3	80.9	42.4	54.1	37.2	85.0	69.0
都・大・中	54.9	67.3	26.5	35.9	21.2	69.6	49.8
都・大・低	43.1	53.9	18.6	25.2	14.6	53.2	35.9
都・小・高	94.3	94.0	56.1	67.6	47.9	90.6	78.8
都・小・中	84.0	85.2	37.0	46.7	32.9	71.5	57.1
都・小・低	72.4	70.7	23.7	31.1	23.3	48.2	35.7
非・大・高	78.7	90.6	44.0	61.3	41.5	89.5	77.9
非・大・中	66.0	84.1	29.6	41.9	26.5	75.7	60.2
非・大・低	51.9	71.0	21.2	32.2	21.4	62.2	44.9
非・小・高	97.4	97.6	58.9	74.1	55.8	92.8	82.0
非・小・中	93.8	93.3	42.0	56.9	41.6	82.9	67.2
非・小・低	82.3	83.5	35.5	41.8	32.1	66.4	53.2
全体	74.4	81.7	35.6	47.3	32.4	76.0	67.3

活動参加率について

- 一般に「小規模でつきあい高～中」の自治会で参加率が高い。
- お祭りだけは、「大規模でつきあいの高い自治会」でも高い。
- 大規模でつきあい低（都市部ではつきあい中も）で参加率が低い。

⇒高い参加率（4割以上）を維持するには規模が小さくなければならない。

（M.オルソン「小集団仮説」（ただ乗りを回避）は正しかった？）

自治会類型と地域団体との連携 Q31

	子ども会	婦人会	老人 クラブ	青年団	消防団・ 自警団	氏子会・ 檀家組織
都・大・高	86.3	59.0	89.9	27.4	77.0	49.4
都・大・中	83.0	50.2	83.0	18.1	66.6	39.3
都・大・低	79.3	44.0	75.9	14.6	57.5	31.2
都・小・高	72.7	52.1	76.3	24.0	72.3	51.6
都・小・中	68.4	45.8	62.6	16.0	56.5	38.2
都・小・低	61.6	33.1	48.4	8.1	39.5	22.1
非・大・高	83.2	59.3	90.1	29.9	81.6	51.6
非・大・中	85.2	48.9	85.5	20.3	73.1	46.4
非・大・低	85.4	41.7	78.9	13.4	62.3	35.2
非・小・高	69.2	57.5	77.8	25.2	73.9	53.1
非・小・中	66.4	47.0	68.5	19.7	63.8	46.3
非・小・低	61.2	33.8	53.3	10.7	50.9	34.0
全体	75.7	49.1	76.0	19.5	66.1	42.9

自治会類型と地域団体との連携 Q31

	PTA	農漁協	商店会	自治会連合会
都・大・高	79.6	29.2	21.2	87.1
都・大・中	77.2	12.4	18.8	86.8
都・大・低	70.5	6.9	15.5	83.8
都・小・高	68.9	43.2	12.4	78.5
都・小・中	60.0	19.1	12.4	74.5
都・小・低	51.2	7.9	7.2	71.0
非・大・高	73.5	38.2	18.6	62.2
非・大・中	71.2	22.6	16.7	64.1
非・大・低	64.1	12.3	14.1	60.4
非・小・高	65.3	49.8	10.8	53.0
非・小・中	56.2	32.6	11.2	51.6
非・小・低	45.3	17.7	7.0	47.3
全体	66.8	24.9	14.4	68.7

自治会類型と行政関連団体との連携 Q31

	社会福祉協 議会	体育協会	防犯協会	警察署	消防署
都・大・高	84.5	65.3	75.2	67.4	65.8
都・大・中	84.1	59.7	72.7	64.9	62.2
都・大・低	79.7	55.6	70.3	62.2	59.0
都・小・高	77.0	58.3	58.2	48.3	46.2
都・小・中	71.7	53.8	51.8	40.9	37.5
都・小・低	64.9	39.9	41.7	33.8	33.1
非・大・高	81.1	61.1	60.8	54.0	51.3
非・大・中	80.2	56.9	56.9	50.4	45.1
非・大・低	77.1	49.5	55.6	48.8	43.3
非・小・高	69.6	51.5	46.1	36.6	37.0
非・小・中	66.4	47.9	41.1	31.2	29.5
非・小・低	59.2	37.6	36.4	27.0	26.2
全体	75.5	54.2	56.4	47.9	45.3

自治会類型と市民団体との連携 Q31

	まちづくり団体	環境団体	福祉団体	趣味のサークル
都・大・高	29.4	18.9	40.0	40.2
都・大・中	24.6	15.1	32.3	29.5
都・大・低	23.1	13.1	28.5	27.6
都・小・高	22.0	14.8	27.4	24.3
都・小・中	17.3	10.5	18.4	17.6
都・小・低	13.8	7.9	14.3	13.3
非・大・高	25.5	16.4	34.0	36.0
非・大・中	21.3	13.8	29.0	34.0
非・大・低	17.6	11.3	25.5	29.0
非・小・高	19.7	12.2	22.3	22.8
非・小・中	15.2	10.7	17.6	19.3
非・小・低	12.9	6.0	14.3	13.9
全体	20.5	12.9	25.5	25.9

他団体との連携

- 全般に、「都市・大規模・つきあい高」の自治会は、様々な団体と連携していることがわかる。
- 地域団体や福祉団体、趣味のサークルなど（≡地域住民が結成しているもの）では、「非都市・大規模・つきあい高」でも、様々な団体と連携している。
- 警察署、消防署、防犯協会、自治会連合会は、「都市部の大規模自治会」で連携が多い。
⇒安全へのニーズ！ 大規模組織だから相互連携
- 小規模・つきあい低の自治会は連携が少ない。

自治会類型と活動の問題点 Q36

	役員引 継ぎ	新旧住民 の交流	世代間の 交流	活動への 参加	活動の財 源	施設の確 保	受託業務 の遂行
都・大・高	12.4	9.2	10.9	12.7	6.8	5.6	3.6
都・大・中	19.3	19.2	25.4	25.8	9.8	9.1	7.0
都・大・低	28.3	38.6	46.3	45.2	15.9	14.5	12.2
都・小・高	7.5	8.9	10.0	7.9	10.2	8.2	6.0
都・小・中	15.2	18.2	26.1	20.8	13.9	15.3	9.1
都・小・低	24.3	38.5	50.3	45.5	25.0	26.8	15.8
非・大・高	9.7	11.5	9.4	11.6	9.5	3.4	2.7
非・大・中	17.5	19.2	23.0	24.5	11.5	5.8	4.7
非・大・低	28.5	37.3	45.4	42.1	19.8	12.9	11.0
非・小・高	8.9	9.0	9.3	8.4	10.7	4.7	4.6
非・小・中	14.4	17.3	20.6	15.8	13.8	8.4	7.4
非・小・低	24.2	37.1	44.7	36.6	22.8	17.9	14.8
全体	16.6	10.6	22.0	22.5	12.7	9.6	7.2

活動の問題点

- ほぼすべての項目で、「つきあいが低い自治会」では問題が認識している。一方、「つきあいが高い自治会」では問題だと思われていない。
 - ⇒非常に興味深い。実際の活動はともかく、問題点の認識は自治会の地域での人間関係、つまりソーシャル・キャピタルのみに規定されている。
(確かにソーシャル・キャピタルがらみの項目が多い)

自治会類型と自治会の役割認識(1位だけ) Q6

	親睦	生活環境 の維持	問題への取 り組み	市町村へ の協力	市町村への 要望	その他
都・大・高	46.4	33.2	14.5	3.6	1.8	0.4
都・大・中	49.4	33.9	9.9	5.3	1.1	0.2
都・大・低	47.4	34.7	8.4	7.3	1.2	1.0
都・小・高	44.0	38.4	10.2	4.8	2.1	0.4
都・小・中	47.6	37.1	6.2	6.7	2.0	0.4
都・小・低	41.2	37.6	6.5	11.3	2.2	1.3
非・大・高	34.4	37.2	18.9	5.6	3.2	0.7
非・大・中	41.5	33.8	13.5	7.4	3.4	0.4
非・大・低	45.6	29.6	10.9	10.0	3.2	0.7
非・小・高	39.9	33.8	14.5	7.9	3.3	0.5
非・小・中	41.5	35.5	9.9	9.3	3.4	0.4
非・小・低	43.4	32.0	7.6	12.2	4.0	0.8
全体	44.0	34.8	11.0	7.3	2.5	0.5

役割認識について

- あまりはっきりした違いではないが、
- 「つきあい高」の自治会では、「地域における問題への自主的取り組み」がやや高い。
- 「小規模・つきあい低」の自治会では、「市町村への協力」という認識がやや高い。（実際には、たいして市町村とも連携していないのだが、ごみ収集など最低限の活動しかやらないという意識の表れだろうか？）

市町村との関係 Q24,28,43

	担当課への 働きかけ	幹部への 働きかけ	政策への 影響力	市町村への 信頼
都・大・高	91.2	58.4	78.8	72.4
都・大・中	86.2	41.8	69.2	63.9
都・大・低	79.1	33.7	61.1	56.0
都・小・高	84.5	49.0	70.7	60.0
都・小・中	72.2	29.2	62.2	53.2
都・小・低	58.1	21.1	49.0	41.3
非・大・高	96.7	71.9	80.1	73.5
非・大・中	94.0	58.7	74.5	69.8
非・大・低	87.1	48.7	62.5	56.0
非・小・高	91.1	59.0	71.9	64.0
非・小・中	81.0	42.3	62.8	56.6
非・小・低	69.6	34.3	53.6	51.7
全体	84.4	46.4	67.6	61.3

市町村との関係

- 全般的に「大規模・つきあい高」の自治会で値が高い。
 - 特に「非都市・大規模・つきあい高」の自治会で働きかけが活発。「非都市・小規模・つきあい高」の自治会や「都市・大規模・つきあい高」の自治会でも高い。
 - 政策への自己影響力や市町村への信頼では、都市規模にかかわらず、「大規模・つきあい高」の自治会で高い。
 - 「都市(非も)・小規模・つきあい低」自治会ではどの項目でも低い。
- ⇒ 規模が重要。
- ⇒ ソーシャル・キャピタルは市町村への働きかけや影響力評価にも関連する。「統合」力
- ⇒ 都市規模が小さいほうが働きかけが活発なのは、市町村との距離感や相対的な力の関係(「相対的影響力」「認知距離」)。

後半のまとめ

- 「大規模で住民のつきあいが高い自治会」では、活動実施率が高い。一方で、「小規模で住民のつきあいが低い自治会」では、活動の実施率が低い。他団体との連携についても同様の傾向。
- 「小規模でつきあいの低い自治会」は、市町村ともあまり連携していない。しかし、自らを市町村と協力するための団体と認識している。
 - ⇒ただし、全体的に数は少ない。小規模でつきあい中だと、地方に多い。
- 「小規模でつきあいが高い自治会」で、活動への参加率が高い。一方、大規模でつきあいが低い自治会では低い。
- 規模にかかわらず、「つきあいが低い自治会」ほど、様々な問題を抱えている。

全体まとめ

- 自治会など**コミュニティ組織**の**多様性**をしっかりと認識する必要。
- 経験や想像以上に多様な実態。
- **社会活動における自治会規模の重要性**
 - 都市部の大規模自治会は多様な社会活動を重視し、市町村や他団体と連携しながら、積極的に活動を行っている。
 - 小規模自治会では、活動自体が不活発。他団体や行政との連携も弱い。
- 自治会の**適正規模論**は？
 - 論点：まちづくり協議会など小学校区単位の編成を行う必要があるか？（トレンド。但し個性のある自治会等は統合？）
- 適正規模論より、むしろ**多様な類型に見合った対応**が必要。

(4レベル、自治会だけでなく、社会団体、NPO、そして自治体調査と関連させた分析続く)